

手と手と手

～子どもを支えるみんなの手～

2024年 第6号

「学習の難しさ」について考える

今回は、学習について触れていきます。学年後半に入り、学習もより深い内容になってきました。前期の学習の様子から、学習面で気になることが出てきたお子さんもいるでしょう。例えば・・・

- ・ひらがなやカタカナの読み書きがまだできない。 ・音読が苦手。読み間違えがある。
- ・文章の内容が理解できない。 ・正しく計算ができない。 ・文章問題が苦手。
- ・図形がうまく描けない。 ・作文や学習の振り返りに、何を書いてもいいかわからない。 などなど

「できるようになるには、どうしたらいいのだろうか？」と悩む場合も多いかと思います。できるようになる秘策があるかと言えば難しいですし、いっぱい取り組んだらどうにかなるかというわけでもないかもしれませんが、まず、「～ができない」をもう少し詳しく見ていく必要があります。

「音読が苦手」を例に考えてみると・・・文字を音に変えることが難しい場合や、漢字の読み方がわからない場合や、視覚情報が多いと文字を追えない場合など、実態は様々です。中には耳で聞いて覚えるのが得意なので、何回もやっているうちに覚えていき、読んでいるというより覚えて唱えている場合もあります。このようなお子さんは低学年のうちには文章の量が少ないので苦手さに気づきにくいこともあります。

苦手さによって、支援方法も異なってきます。視覚的に文字を追うのが難しい場合は、読んでいる場所に注目しやすいよう1行だけ見える定規を使用したりします。漢字の読みが苦手ならルビつきの文章を用いることもあります。読むことの負担が大きい場合は、読み上げを行い、音読をするよりも内容理解を重視することもあります。

大切なのは、実態にあった支援方法で、その児童なりの成長をしていくことです。「このやり方なら合っているかもしれない。」「一人でできるまではいかないが、一緒に取り組めばできるようになった。」など小さな成長を見逃さないようにしたいですね。保護者の方と学びの様子をよく観察し、よりよい支援方法を考えていきたいと思います。

コーディネーターから

9月の個人面談では、コーディネーターとの面談の希望をとりました。
12月希望制個人面談は、面談日に出張があり日程が確保できなかった為、面談希望をおたよりにのせませんでした。

面談ご希望の際は、個別に日程調整をいたします。担任または、直接コーディネーターにご連絡ください。



☆12・1月の巡回カウンセラー

12月10日(火) 終日

1月24日(金)

巡回カウンセラー、コーディネーター面談のご希望は…
支援教育コーディネーターまで

044-288-3167

